

調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

市政の各分野にわたって市民の意向を把握するとともに、市政の現況に対する評価と広報の浸透度をさぐり、今後の行政施策上の参考資料とするものである。

2. 調査の設計と回収結果

- (1) 調査対象 市内に居住する満20歳以上の男女個人
- (2) 標本構成 標本数 1,000 (母集団33,000人)
回収数 778 回収率 77.8%
集計不能票 4
有効回収票 774 有効回収率 77.4%

※集計不能票とは標本特性の全面的無回答及び質問項目の大部分にわたる無回答票であり、一部無回答は有効とした。

- (3) 抽出方法 永久選挙人名簿より無作為抽出
- (4) 末端調査法 郵送調査法 (回答用封筒同封)
- (5) 調査の時期 発送 昭和53年10月5日
回収 昭和53年10月18日
- (6) 調査の実施 福生市役所
企画財政部企画財政課広報広聴係

3. 標本調査の有効性について

標本誤差の幅は、比率算出の基数 (標本数 = n) と与えられた比率 (回答率 = p) によって異なり、単純無作為抽出の場合、次の公式によって計算される。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$$

この公式によって算出された回答誤差は次の通りである。

回答の比率	基 数	誤 差	信 頼 範 囲
10% (90%)	774	± 2.1	7.9~12.1% (87.9~92.1%)
20% (80%)	774	± 2.9	17.1~22.9% (77.1~82.9%)
30% (70%)	774	± 3.3	26.7~33.3% (66.7~73.3%)
40% (60%)	774	± 3.5	36.5~43.5% (56.5~63.5%)
50%の場合	774	± 3.6	46.4~53.6%

したがって 3 ~ 4 % の誤差は含みおく必要がある。

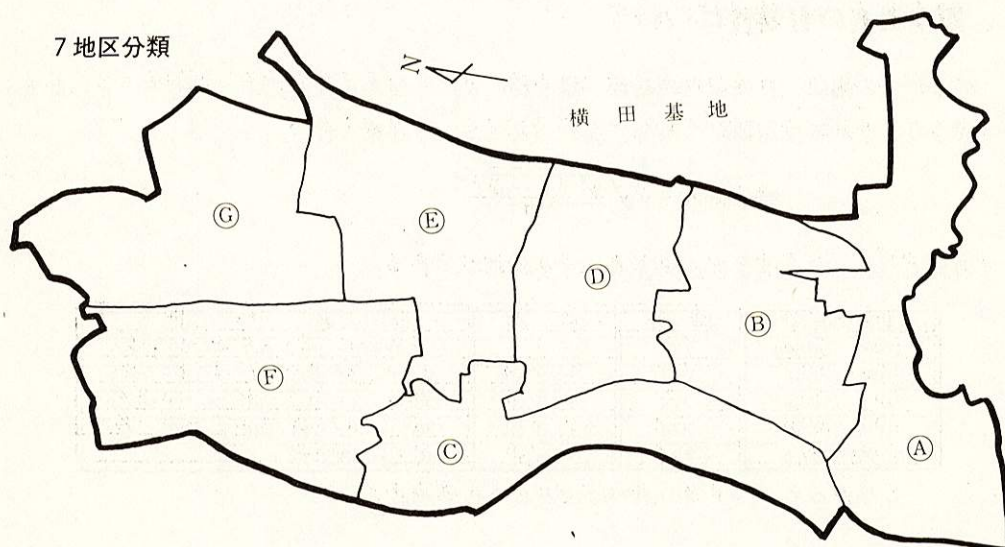
4. ブロックの構成

地域特性を把握するために次のようなブロックを設定した。なお、今回は前回調査（昭和49年12月）の14地区分類から7地区分類へ改編した。これは分析上、一地区の標本数を100前後としたためである。したがって、前回調査との比較が必要な設問では、この両地区分類を併用した。

<7地区分類>

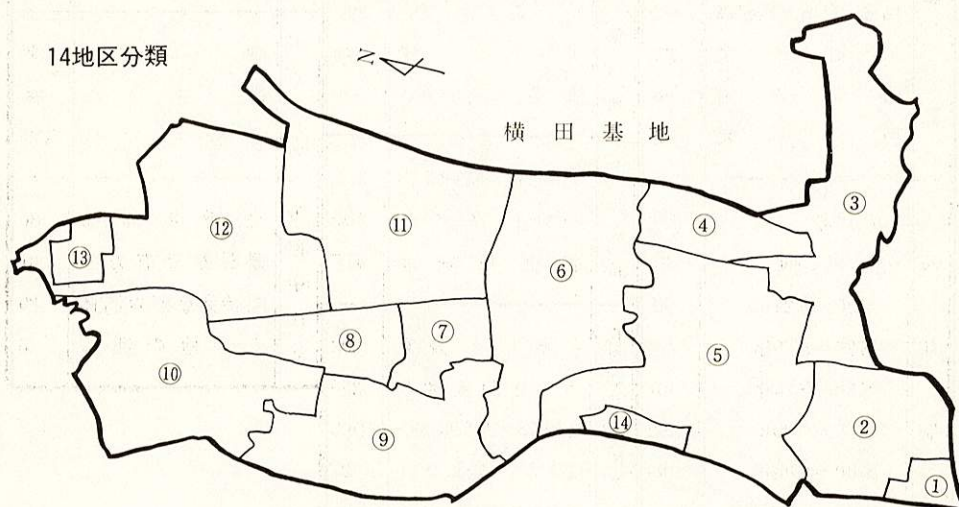
地 区	地 名	標 本 数	有効回収票	有効回収率
Aブロック	福生熊川住宅・南・内出・武蔵野 武蔵野第2・福東	145	123	84.8%
Bブロック	富士見台・福栄・玉川台・鍋ヶ谷戸1 鍋ヶ谷戸2	150	111	74.1
Cブロック	南田園・志茂1・北田園・福生団地	100	89	89.0
Dブロック	熊牛・牛浜1・牛浜2	115	87	75.9
Eブロック	志茂2・原ヶ谷戸・本町7	155	76	49.0
Fブロック	本町1・本町2・本町3・中央 本町6・永田・長沢1・長沢2 加美1・加美2	155	126	82.3
Gブロック	本町8・本町8第2・武蔵野台 加美平住宅	180	151	83.9
不 明			11	
全 市 合 計		1,000	774	77.4

7地区分類



<14地区分類>

地区	地名	標本数	有効回収票	有効回収率
1	福生熊川住宅	35	29	82.9%
2	南・内出	40	29	72.5
3	武蔵野・武蔵野第2・福東	70	65	92.9
4	富士見台・福栄・玉川台	50	36	72.0
5	鍋ヶ谷戸1・鍋ヶ谷戸2・南田園	120	94	78.3
6	熊牛・牛浜1・牛浜2	115	87	76.7
7	志茂2	40	27	67.5
8	本町1・本町2・本町3・中央・本町6	55	43	78.2
9	志茂1・北田園・永田・長沢1	60	51	85.0
10	長沢2・加美1・加美2	70	59	84.3
11	原ヶ谷戸・本町7	115	49	42.6
12	本町8・本町8第2・武蔵野台	120	101	84.2
13	加美平住宅	60	50	83.3
14	福生団地	50	43	86.0
不明			11	
全 市 合 計		1,000	774	77.4



5. 凡 例

1. 文中及び図・表における解説上の数字はいずれも百分比(%)であり、標本数(実数)ではない。原則として有効回収数774を100%として算出した。
2. 百分比は小数第1位を四捨五入した。したがって内数の合計が100%にならない場合もある。
3. 重複回答の場合、内数の合計は100%を超える。
4. N (Net) とは百分比する際の基数(標本数)である。
5. 分析に用いた属性の各々の標本数は次の通りである。

属 性			N	属 性			N	属 性			N	
地 区	別掲（6～7頁）参照			居 住 歴	S45～S49年		149	市 政 へ の 関 心	大 い に あ る		170	
					S50年以降		144		や や あ る		295	
性	男		343	就 業 地	市 内		302		あ ま り な い		292	
	女		413		市 外		170	家 族 構 成	3 歳 未 満 児 あり		145	
年 齢	未 婚		102	非 就 業 者		296	3 ～ 6 歳 未 満 児 あり		175			
	既 婚	20～34歳		217	住 居 形 態	持 家			378	小 学 生 あり		206
		35～44歳		179		借 家			148	60 歳 以 上 あり		199
		45～54歳		162		公 営 ・ 住 宅		171	家 族 形 態	核 家 族		482
		55歳以上		112		ア パ ー ト そ の 他		69		複 合 家 族		142
職 業	勤 労 者		339	全 体 評 価	住 み よ い		327	ゴ ミ の 量				
	自営・自由・管理職		109		普 通		343		増 え た		336	
	主 婦 専 業		239		住 み に く い		92		減 っ た		99	
	勤 労 主 婦		68						変 わ ら な い		333	
	無 職		63	定 住 意 向	ず っ と 住 み 続 け た い		379	苦 情 申 出 先	役 所 担 当 者		86	
居 住 歴	出生時～		100		当 分 住 み た い		219		議 員 な ど 有 力 者		31	
	S19年以前		13		定 住 不 安 定		157		自 治 会 な ど の 団 体		39	
	S20～S24年		49		広 報 紙 の 精 読 状 況	く わ し く 読 む			303	そ の 他 の 団 体		6
	S25～S29年		54			ざ っ と 目 を 通 す		280				
	S30～S34年		61			必 要 な こ と だ け 読 む		163				
	S35～S39年		92			ほ と ん ど 読 ま な い		27				
S40～S44年		108										

属 性			N	属 性			N	属 性			N
市 評 価	緑・空気など 自然環境	満足	413	市 評 価	老後の暮らし の場として	満足	169	地 域 評 価	公 園 子どもの遊び場	満足	288
		不満	96			不満	219			不満	238
	道路排水など 生活環境	満足	205	市 評 価	市全体の まとまり	満足	154		買物の便	満足	339
		不満	300			不満	135			不満	170
	子育て環境	満足	188	地 域 評 価	道路の 整備・排水	満足	252		交通の便	満足	307
		不満	215			不満	296			不満	198
	スポーツ 文化活動	満足	196		公 害	満足	138		通園・通学の便	満足	336
		不満	145			不満	393			不満	114
	働く場として	満足	106		ゴミ・し尿処理	満足	336		医療機関の便	満足	252
		不満	229			不満	158			不満	236
	消費生活の 場として	満足	277		日当り・風当り	満足	426		近所づきあい	満足	204
		不満	205			不満	126			不満	149

注) 無回答は除く。したがって内数の合計は必ずしも全体 (774) とは一致しない。